１．（河川管理）
名寄市の臭気公害はいつまでたっても直りません。豊栄川の汚さも[redacted]会社が原因で天塩川を汚しています。剣淵の[redacted]工場も、剣淵川を汚染し、その結果、天塩川を汚している。士別市の[redacted]工場からの排液も剣淵川に流れているようで、開発局の河川管理は一体どうなっているのかと疑問を感じています。また、農業の取水施設も川の流れを止め、水温上昇と酸欠を起こして河川を汚す原因となってはいませんか。農業廃水も産業排水としてきちんと管理改善していただきたい。

２．（サンルダム）
サンルダムの建設目的のひとつには、名寄市の水道水取水目的も含まれているようですが、将来的に名寄市の人口が増えるとの「前提」のもとにつくられた計画かと思います。しかしながら、先日名寄市が出したデータでは、名寄市の人口は減少していくとのこと。また、サンルダム建設予定地におけるサクラマス産卵床の調査数値データについて、開発局の（一時的な）調査結果と、民間団体の（長期的な）調査結果とには、誤差では済まされないような大きな隔たりがあります。サクラマスだけではなく、建設予定地における生態系や環境に関するデータが都合のよいように操作されているのではないかと感じ、信頼がおけません。直近のデータを元に、ダム建設を見直したほうがよいのではないでしょうか。

３．（サンルダム）
何十年に一度の洪水防止のために５００億円もの税金をつぎ込むなら、遊水地案を採用し、被害にあった営農者（または被害者）に補償金を支払う形にしたほうが、税金の有効利用にならないでしょうか。遊水地にしたときの対費用効果についても、しっかりとデータを提示するべきです。まず、「ダム建設ありき」の姿勢しか見られません。

結論として、サンルダム建設には、猛烈に反対です。